

## ベトナム現地情報（2021.11.12）

ジャパン証券 北山亨

### 第 19 回「ベトナムのサッカー熱」

11月11日（木）、ハノイ市でFIFAワールドカップ（W杯）カタール2022アジア最終予選の試合が行われました。ベトナム対日本とベトナムでも注目度の高い試合となりました。今回は試合当日のスタジアムの様子と、成長中のベトナムサッカーについて触れていきたいと思っています。

### 勝負のミーディン国立競技場へ

試合はハノイ市郊外にあるミーディン国立競技場で行われました。4万人の観客を収容することができる競技場は、ベトナムを代表するスタジアムで数々の国際大会やコンサートが行われています。また競技場前の道路は自動車レースのF1<sup>1</sup>が開催される予定だった所で、かなり広い車線となっています。



スタジアム前の Lê Quang Đạo 通り、スタジアムはひときわライトで明るく照らされています

午後6時前にスタジアムに着くと、さっそく赤い鉢巻姿のサッカーファンが現れました。鉢巻には黄色い文字で「Việt Nam Chiến Thắng（ベトナム勝利）」が書かれています。筆者も売り子から1万ドン<sup>2</sup>で鉢巻を購入しました。

<sup>1</sup> 新型コロナのため、2020年に開催される予定の大会が延期、2021年も結局中止となった。

<sup>2</sup> 1ドン = 0.005037円（2021年11月12日時点、ブルームバーグ参照）10,000ドンは約50円

ベトナムではサッカーへの関心が非常に高く、国際試合になると国旗を振り回しながら市内を走行するバイクや車の姿が見られます。しかしコロナ禍のためか、筆者が予想していたよりも会場周辺の様子は落ち着いていました。

コロナ対策のためにスタジアムの周りは柵で囲ってあり、入口には公安の人が立っています。観戦者数をスタジアム収容人数の30%（約12,000人）に抑えることで今回、観客の動員を可能にしました。仕事帰りかと思われる日本人サポーターの姿も少数でしたが、ありました。観戦者はチケットと2回目のワクチン接種証明書などを警察に見せてから入ります。また入口近くでは「モチウ、モチウ！（100万ドン、100万ドン！）」とダフ屋のおばさんがチケットを販売しています。筆者は2回目の接種がまだだったのでスタジアムを後にしました。



スタジアム入口の様子（緑の制服が公安） 旗や鉢巻、楽器（ブゼラ）を販売する売り子



FPTグループが発信する有料配信のFPT Play（YouTubeのライブストリーミングでは、配信開始から約21時間たった12日15時半時点で495万回4,951,144回を数えています）。

試合は国営放送のVTV5、VTV6でも放送されました。またSNSのインスタグラムには、試合会場の様子が若者を中心に投稿されていました。

## 成長するベトナムサッカー

国民の熱烈な応援を受け、近年ベトナムサッカーは力をつけてきています。2018年 AFC U23 アジアカップでの準優勝、今回初めて W 杯アジア最終予選に残ったのはベトナムサッカーの成長を示しています。実際に世界ランキングはここ 5 年間で大きく伸びました（2016 年 10 月：136 位、2021 年 10 月 98 位）。代表チームのスポンサー企業にはビナミルク（VNM）やフンティン・インコンズ（HTN）といった国内企業、ホンダやエースコックといった日系企業が名を連ねています。ベトナムで事業を展開するスポンサー企業にとって、まさにサッカーは自社の商品の宣伝に活躍する強力なサポーターでしょう。



また国内リーグも見逃せません。国内リーグは V リーグ 1 部と V リーグ 2 部、さらに下の下部組織に分かれます。本拠地の名前やスポンサー名がチーム名に付けられています。もともとは 1980 年にベトナム全国サッカー大会として設立されました。その後 2000～2001 年の時期に商業化が行われ、チームは外国人選手を登用することができるようになりました。昨年には新興チームのサイゴン FC が元日本代表の獲得に動くなど大きな注目を集めました。

今年はコロナ第 4 波の影響を受けて V リーグは 8 月に中止が決まりました。来季の開催を期待したいと思います。

### スポンサー名を冠する主なクラブチームとスポンサー企業

クラブ名	本拠地	スポンサー企業
Hoàng Anh Gia Lai	ザライ省	ホアン・アイン・ザライ（HAG）：農業大手
Viettel	ハノイ市	国内通信大手。過去に 6 回リーグ優勝している強豪チーム
Becamex Bình Dương	ビンズオン省	ベカメックス IDC（BCM）：企業の工業団地などを手掛ける不動産ディベロッパー
SHB Đà Nẵng	ダナン市	サイゴンハノイ銀行（SHB）：大手商業銀行

（写真）JSI 撮影、ベトナムプロサッカー合弁会社の公式ホームページ、YouTube、インスタグラムより



## ディスクレーマー

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。